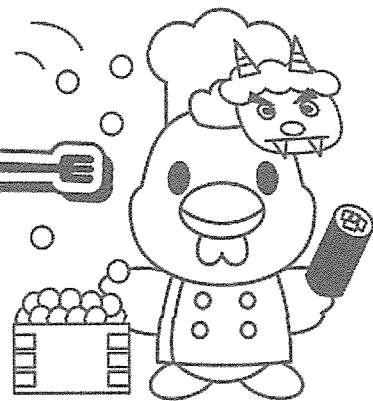




しょうたいしゃ



暦の上では立春を迎え、春に向けて動きはじめていますが、2月は1年で最も寒さが厳しい時期です。2月の行事には節分があります。1年間を元気に過ごすために行われます。風邪やウイルスから体を守っていきましょう。

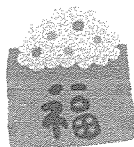


2021年は2月2日が節分!

節分は「季節の分かれ目」という意味で、立春の前日をいいます。

今年は2月2日が節分です。節分が3日にならないのは37年ぶり、2日になるのは124年ぶりになります。季節の変わり目には鬼がやってくると信じられていたため、鬼を追い払って病気にかからず幸せに過ごせることを願う行事です。

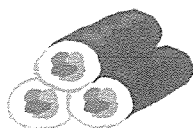
節分の食べ物



福豆 厄払い

豆まきに使用する大豆は、他の豆に比べてたんぱく質や脂質が多いのが特徴で「畑の肉」と言われるほど栄養が豊富です。

「鬼は外、福は内」と唱えながら豆をまき、年の数または年より1つ多く豆を食べることで1年の健康や無事を願います。豆まきには生の大豆ではなく「炒り豆」を使用し、「福豆」と呼ばれています。生の大豆は芽が出てしまい「邪気が芽を出す」として縁起が悪いとされているため、「豆を炒る」ことで「魔の目を射る」として邪気をはらう意味が込められています。



恵方巻き 福を巻き込む

恵方とは年神様のいる縁起の良い方角のことを言います。恵方巻きは恵方を向き、縁を切らず「福を巻き込む」ために1本を切らずに無言で最後まで食べます。縁起の良い七福神にちなんで、7種類の具材が入ったものが望ましいとされています。



柊(ヒイラギ)イワシ 魔除け

ヒイラギの枝に焼いたイワシの頭を刺した飾りを玄関先に置きます。「ヒイラギのトゲ」と「イワシの臭い」で鬼の侵入を防ぎ、追い払うと言われています。また、焼いたイワシを節分に食べるという地域もあります。



鬼のパンツはなぜトラ柄?

鬼が入り出すとされている方角を「鬼門」と言い、「北東」を指します。この方角を十二支にあてはめると「丑」「寅」にあたります。そのため、鬼は「牛の角を持った姿で、寅のパンツを身に付けているとされているようです。」

当社オリジナルキャラクターの待ち受け画面がダウンロードできます!



YASUDA Co., Ltd

